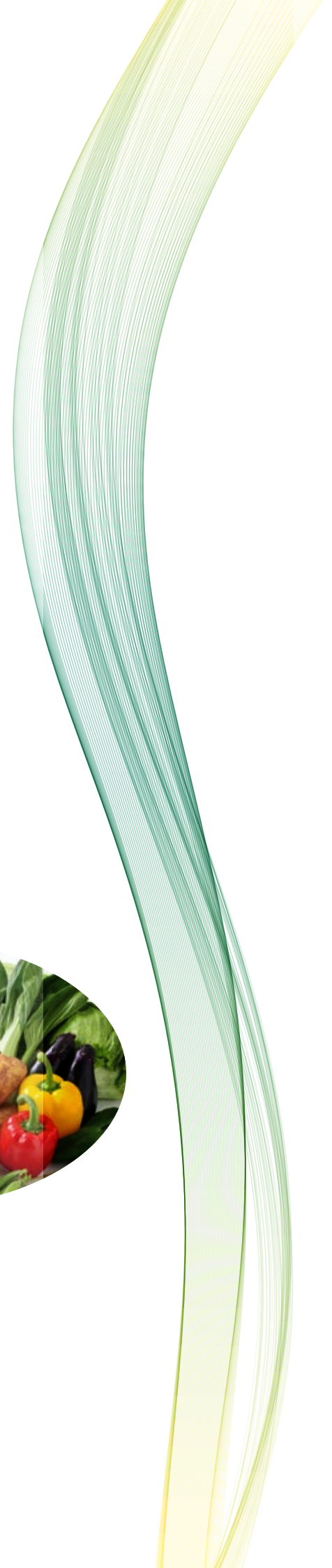


食品安全委員会

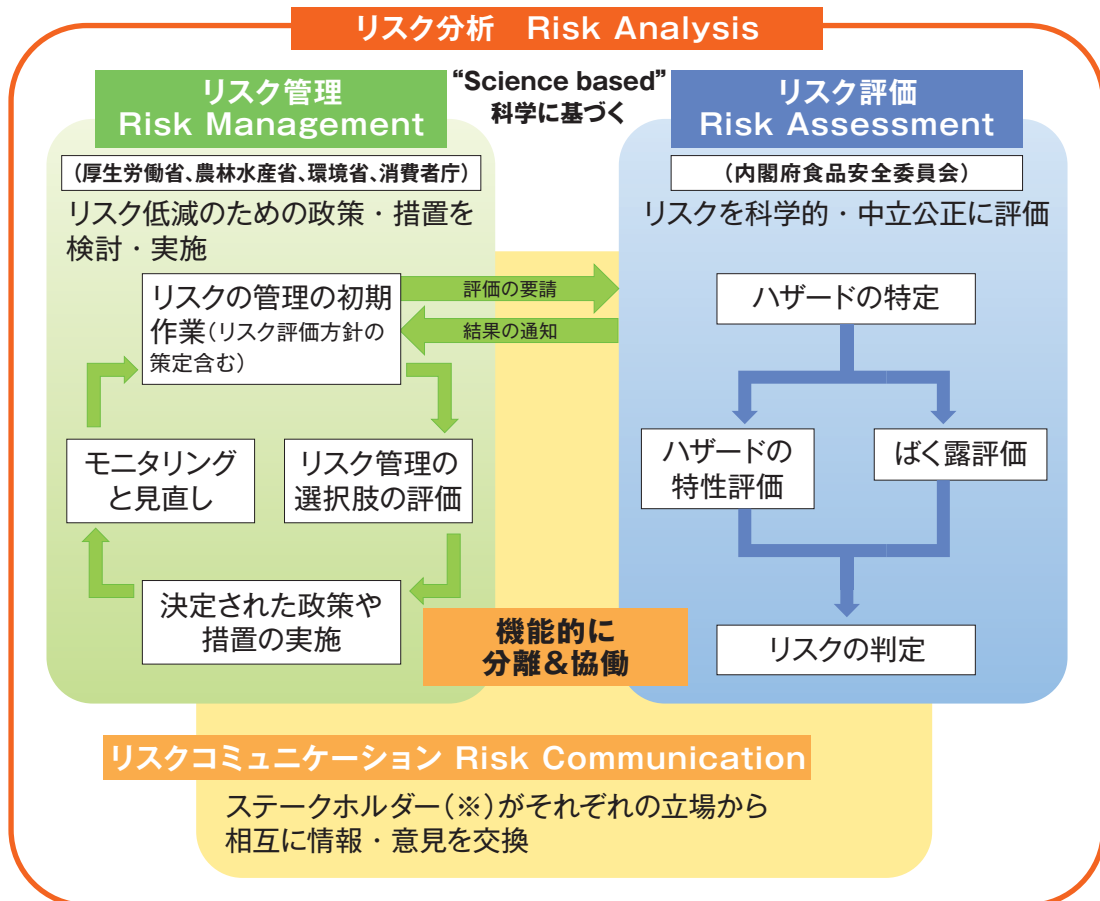
Food Safety Commission



「食の安全」を科学する

食品安全委員会は、国民の健康保護を最優先として、食品の安全性を確保するためのリスク評価や、リスクコミュニケーションに取り組んでいます。

食品の安全性を確保するしくみ(リスク分析)



※ステークホルダー

関与者、利害関係者のこと。一般市民（消費者、消費者団体）、行政（リスク管理機関、リスク評価機関）、メディア、事業者（一次生産者、製造業者、流通業者、業界団体など）、専門家（研究者、研究・教育機関、医療機関など）といった者が該当。

リスク分析

出典：食品安全委員会「食品の安全性に関する用語集」

食品中に含まれるハザード（ヒトの健康に悪影響を及ぼす原因となる可能性のある食品中の物質又は食品の状態）を摂取することによってヒトの健康に悪影響を及ぼす可能性がある場合に、その発生を防止し、又はそのリスクを低減するための考え方。

リスク管理、リスク評価及びリスクコミュニケーションの3つの要素からなっており、これらが相互に作用し合うことによって、より良い成果が得られる。

用語集のリンクはこちらから。
ぜひご活用ください。



◎業務内容

リスク評価

リスクコミュニケーション

研究・調査

国内外の情報の収集・発信

国際協調

◎組織

食品安全委員会は7名の委員（常勤4名、非常勤3名）で構成されています。毎週開催される食品安全委員会は公開で行われています。リスク管理機関(*)から諮問を受け、専門調査会やワーキンググループでの審議結果をもとに、リスク評価（食品健康影響評価）を決定し、リスク管理機関に通知しています。なお、リスク管理機関は、食品安全委員会の評価を踏まえ、基準値や使用基準の設定等を行い、指導や規制を行います。

※リスク管理機関：厚生労働省、農林水産省、環境省、消費者庁

事務局では、評価に必要な科学的知見の整理、リスク管理機関との連絡調整、リスクコミュニケーションを行っています。事務局長以下常勤職員、技術参与、期間雇用職員で構成されています。

◆食品安全委員会

委員長：山本 茂貴…微生物学

委員：香西 みどり…消費者意識・消費行動(調理科学)

委員：浅野 哲…毒性学

委員：松永 和紀…リスクコミュニケーション

委員：川西 徹…化学物質(代謝・動態)

委員：吉田 充…食品の生産・流通(生物有機化学)

委員：脇 昌子…公衆衛生学

◆専門調査会

◆ワーキンググループ

事務局

総務課

評価第一課

評価技術企画室

評価第二課

情報・勧告広報課

リスクコミュニケーション官

評価情報分析官

事務局長

事務局次長

※1 食品添加物、農薬、食品用器具及び容器包装、食品中の汚染物質等のリスク評価

※2 動物用医薬品、肥料・飼料等、微生物、ウイルス、寄生虫、プリオン、かび毒、自然毒等、新開発食品、特定保健用食品、遺伝子組換え食品等のリスク評価

※3 *in silico*評価方法等の新しいリスク評価方法の検討